



2024年3月ダイヤ改正等について提案を受ける！その①

地本は、「2024年3月ダイヤ改正等について」の提案を受けました。主な内容は以下の通りです。

2024年3月ダイヤ改正における千葉支社の主な実施内容は、

- 特急「しおさい」「わかしお」「さざなみ」の料金体系・輸送体系変更、全車指定席化
「わかしお」「さざなみ」はE257系5両に統一、「しおさい」E259系6両(一部E257系)
「しおさい」1本増発、船橋駅全列車停車、四街道駅一部列車停車の拡大、「わかしお」勝浦ー東京間1本増発、土気駅1本停車増、「しおさい」「さざなみ」「わかしお」のご利用の少ない列車運転取りやめ。
 - ・外国人のお客さまにNEXとしおさいの区別がつかないのではないか？
→駅でのご案内で対応してもらおうが、支社も含めて対応していく。
- 特急「成田エクスプレスの料金体系・輸送体系変更」
 - ・空港を含まないご利用はわかしお、さざなみ等と同一の料金体系にしてい
- 総武快速線 朝通勤時間帯の増発(1本)及び編成両数変更(11両から15両へ1本増)、20時台1本減
- 京葉線 (内房線および外房線と京葉線直通列車含む)快速運転時間帯の変更
 - ・10時～15時代を除いて通勤快速および快速の各駅停車化、朝ピーク蘇我ー東京間を1本削減、夜間帯東京ー海浜幕張間1往復削減
 - ・コロナ以前の乗車率と比較して戻りが少なく各駅停車のご利用が増えている状況を踏まえた。
- 各線区 ご利用状況に合わせた輸送体系変更
等であり、これにあわせて乗務員関係区所の乗務行路を見直す他、諸施策を実施することとする。
 - ・外房線、夜間帯の上総ーノ宮ー勝浦間1往復削減、内房線夕夜間帯、君津ー上総湊間の1往復削減、総武線夕夜間帯の千葉ー四街道間1往復新設、四街道ー佐倉は1往復削減

○ダイヤ改正規模(速報値) ▲550.0キロ

- (1)房総特急全車指定席化に伴う乗務行路の見直し
実施箇所 津田沼統括センター、蘇我運輸区京葉派出を除く全乗務員区所
- (2)柔軟な短時間行路の設定
実施箇所 全乗務員区所
- (3)乗務線区の見直し
実施箇所 成田統括センター(銚子乗務ユニット運転士の総武快速線特急列車のみ担当を取り止め)
- (4)臨要員の見直し
実施箇所 木更津統括センター
 - ・EC、DC両方の免許を持って居る社員が増えたため臨要員をEC▲1、DC▲1
 - ・前年度実績を踏まえて車掌の臨要員を1増
- (5)移動禁止表示設置箇所および出区点検開始箇所の見直し
実施箇所 蘇我運輸区京葉派出を除く全乗務員区所
 - ・ライン管理を見据えて周りの他支社に合わせる。

その②へ



2024年3月ダイヤ改正等について提案を受ける！その②

- (6) 木更津駅における分割作業の業務分担一部見直し
 実施箇所 木更津統括センター(乗務ユニット)
 ・209系併合の誘導を駅から車掌がその他時間で実施
- (7) 他支社等の乗務員基地再編に伴う行路移管
 実施箇所 千葉統括センター、蘇我運輸区京葉派出所
 ・武蔵野運輸区発足に伴い蘇我運輸区京葉派出所へ、千葉統括センターは丸の内運輸区に1行路移管
- (8) 他支社からの行路移管に伴う体制見直し
 実施箇所 蘇我運輸区京葉派出所
 ・武蔵野運輸区発足に伴い蘇我運輸区京葉派出所に運転士の受け入れ、これに伴い変形が管理1増、一般2増(企画副長1増、指導員1増、事務1増)
- (9) 他支社等の乗務員基地再編に伴う労働時間変更
 実施箇所 津田沼統括センター、千葉統括センター、成田統括センター、蘇我運輸区京葉派出所
- (10) 要員体制

		現行					改正				
		変形等	交代	乗務員		計	変形等	交代	乗務員		計
				日勤	泊				日勤	泊	
茂原	管理	8	6			14	8	6			14
統括センター	一般	5	12	10	14	41	5	12	10	13	40
木更津	管理	13	6			19	13	6			19
統括センター	一般	8	11	22	21	62	8	11	20	20	59
蘇我運輸区	管理	6	2			8	6	2			8
	一般	7		30	45	82	7		27	44	78
蘇我運輸区	管理	1	2			3	2	2			4
京葉派出所	一般	2		16	9	27	4		18	18	40

※業務の繁閑等に応じて1日当たりの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する
 ※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある

- (11) 諸元 車両配置両数、形式別車両キ口、乗務員乗務キ口及び労働時間、準備時間一覧表
- (12) 実施日 2024年3月16日(土)
- (13) その他 必要な教育・訓練は実施する

**安全がトッププライオリティの職場環境を創り出すため、
 職場議論を積み重ね、組合員の声を基に、
 地本は団体交渉を行っていきます！**